

事業計画書

事業名	金ヶ作歴史散策まっぷプロジェクト事業
団体名	金ヶ作歴史同好会

事業概要

すでに観光などの地域マップが存在する。しかし歴史事実に基づくマップが存在しないことに憂慮していた。そこで松戸市の助成事業を利用しながら、地域の強みを生かした本件を実施したい。これをテコに門前、佐野、河越と五助の金ヶ作地区の連携を図りながら、地域おこしを企てるものである。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史は懐古趣味ではない。歴史観は人さまざまに取り扱うのが難しいが、歴史事実は共有できるはずである。過去の歴史を学ぶことによって、現在を知り、未来への選択肢の幅が広がるのである。その点で歴史散策まっぷはやり易い。＜歴史の取り扱い＞ 2. 明治22年(1889)に七ヶ村を合併させて高木村ができたが、享保15年(1730)の新田開発で金ヶ作村ができていた。大東亜戦争後、松戸市は東京のベッドタウンとして都市開発が進み、金ヶ作の大部分が常盤平団地として生まれかわり、金ヶ作の駅名もかわった。今回、いっしょに連携しようと考えているのは、金ヶ作として残された門前、佐野、金ヶ作町会の有志である。＜経緯＞ 3. 金ヶ作は、主に新京成八柱駅、常盤平駅、五香駅までの区間北側に位置して大部分が市街化調整区域である。そのためともいえるが、21世紀の森と広場ともつながって、囲い山の森・金ヶ作自然公園・立切の森・三吉の森から大津川方面（藤心）に続く自然は貴重である。位置的に松戸市の中央部にあり標高が少し高く、雨水は、大津川（手賀沼水系）、坂川（江戸川）、春木川（国分川）の三方向に分かれる珍しい分水嶺（界）がある。湧水も多かった。しかし、生産緑地法の指定期間30年が経って景色が変わろうとしている。＜立地＞ 4. 道路の拡幅や宅地造成とともに、あったはずの庚申道標や旧陸軍鉄道第二連隊演習線の境界標石が車止めになっていたりする。この「金ヶ作歴史散策まっぷ」を介して、小金牧や金ヶ作陣屋、徳川将軍御鹿狩り、鮮魚街道など金ヶ作の歴史事実を残す端緒としたい。森のホール21や松戸市立博物館、千葉県立西部図書館などの文化・学術施設を含め、森と文化と歴史をテーマに松戸市の魅力をさらに高められるマップにしたいと考えている。＜課題＞
事業の目的	<p>次年度も新型コロナウイルスとの戦いは続くと思われるので、リスクが高いイベントは避け、成果物としての「金ヶ作歴史散策まっぷ」制作を軸に地域の関係団体との連携を発展させる。なお、印象が固くならないよう健康的で楽しんで歩けるマップにしたい。</p> <p>すでに地域の歴史を紐解ける出版物を出した市民活動団体もある。金ヶ作においてそれに相当するものは、松戸市立高木小学校の90年史や「高木のむかし」高木のむかし編集委員会（平成3年3月31日発行）、同100年史がある。それらは高木小学校の記念事業として発行されたもの。今回目指すのは、地域</p>

	<p>の歴史を可視化して一見性と可読性を補うマップである。そこには最近になって見えてきた歴史事実も含めたいと考えている。また、この取り組みは、地域を愛する諸先輩が残したご努力を引き継ぐ手段のひとつになればと願って申請するものである。</p>
<p>事業内容</p>	<p>(1) 地図制作 仕様：A2、両面カラー 表面：歴史散策まっぷ（3コース程度）、裏面：文化財・史跡マップ（写真、解説）、工期：5ヶ月、内容：デザイン企画、撮影、印刷 サイズ：表面・横 420mm 縦 594mm、裏面・横 594mm 縦 420mm 第1版は日本語バージョンのみとする。 テーマ：「森と文化と歴史」・協力者との地図づくり 小金牧（中野牧）としての金ヶ作陣屋、鮮魚街道、お立場（旧松戸飛行場含む）、陸軍鉄道演習線軌道跡などの学術的・歴史事実にもとづく俯瞰まっぷ。 地図範囲：21世紀の森と広場を含む金ヶ作地区（門前・佐野・金ヶ作（河越・五助））と関連場所。 印刷：一枚 200円単価で 500枚を目指す予算案</p> <p>(2) 地図デザイン（レイアウトやイラストを含む）の検討作業 (3) 歴史的事実の再検討・洗い出し作業 (4) 自然と地形および学術文化資源の検討作業 (5) 写真や解説文の検討作業 (6) 地図制作の過程を通して、門前町会、佐野町会、金ヶ作町会その他関係団体等との連携を模索しながら、継続的に次のステップに進むようにしたい。</p> <p>スケジュール管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会の実施 定例と臨時を適宜実施 ・場所 門前町会集会所、コミカフェ ChoshiYa ・構成員 本会員のほか協力者や有志を拡大 <p>第1四半期 4～6月 検討作業期間 第2四半期 7～9月 制作重点期間 第3四半期 10月～12月 検証期間、試し刷り。 第4四半期 1月～3月 歴史散策の試行。協力者に参加してもらい意見を反映。再検証、印刷、配布先の検討と配布。</p>
<p>事業の目標</p>	<p>成果物としての「金ヶ作歴史散策まっぷ」の制作と地域連携の構築。とくに地域連携は、マップをつくった後の発展につながるので重要である。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>すでに話題にあがっている項目としては、以下のようなものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史散策ガイドの実施 ・講演会「故郷を語ろう（門前町集会所）」などの実施 ・Google Map 上に歴史散策まっぷを共有（公開）させる。 ・地域の歴史の語り部をしたい（初中等教育への協力活動）。 ・市立博物館に立体俯瞰図を置きたい。 ・御陣屋太鼓を松戸市指定有形文化財として申請をしたい。 ・歴史を示すために町会等と提携して独自の案内・説明を設置したい。 ・第1版での指摘も踏まえて、更に充実の第2版の制作を行うなど。

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 113,776	事業費の一部は団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 113,776	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 213,776	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 10,000	プリンタインク3,210円、台紙1,070円、A4普通紙660円、白地図（電子国土基本図より調達予定）ほか 5,060円
	使用料及び賃借料	¥ 28,776	地図制作用ソフト Adobe Illustrator 1ライセンスプラン 28,776円/年。その他編集環境は既存のソフトと設備を利用する。
	委託料	¥ 30,000	金ヶ作歴史散策まっぷのイラスト作画
	使用料及び賃借料	¥ 30,000	会議室使用料 @500×2h×30日=30,000円
	印刷製本費	¥ 100,000	金ヶ作歴史散策まっぷ（第1版）@200×500枚
	対象経費の合計 (D)	¥ 198,776	
その他経費	お茶代	¥ 15,000	飲料@100×30日×5人
	その他経費の合計 (E)	¥ 15,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 213,776	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。